

一都 3 県のひとり親家庭の現状

～新型コロナウイルス感染症対応～

2020 年冬の緊急追加支援 ひとり親家庭応援ボックス利用者の申請項目から～

冬の緊急追加支援

「ひとり親家庭
応援ボックス」

申込結果

Save the Children

(イメージ)

2021 年 3 月 5 日

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部

<2020 年冬の緊急追加支援 ひとり親家庭応援ボックス実施概要>

- 【実施期間】 ・受付：2020 年 11 月 26 日～12 月 3 日
 ・発送：2021 年 12 月 18 日
- 【配布世帯数】 1,181 世帯（子ども 2,013 人）
- 【対象者】 セーブ・ザ・チルドレンが 2020 年 5、6 月に実施した「ひとり親家庭応援ボックス」利用者で
 発送を希望したひとり親家庭 1,181 世帯（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
- 【配布内容】 食料品、情報提供
- 【実施目的】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い収入が減少したひとり親家庭の子どもたちの食の状況
 改善のため。

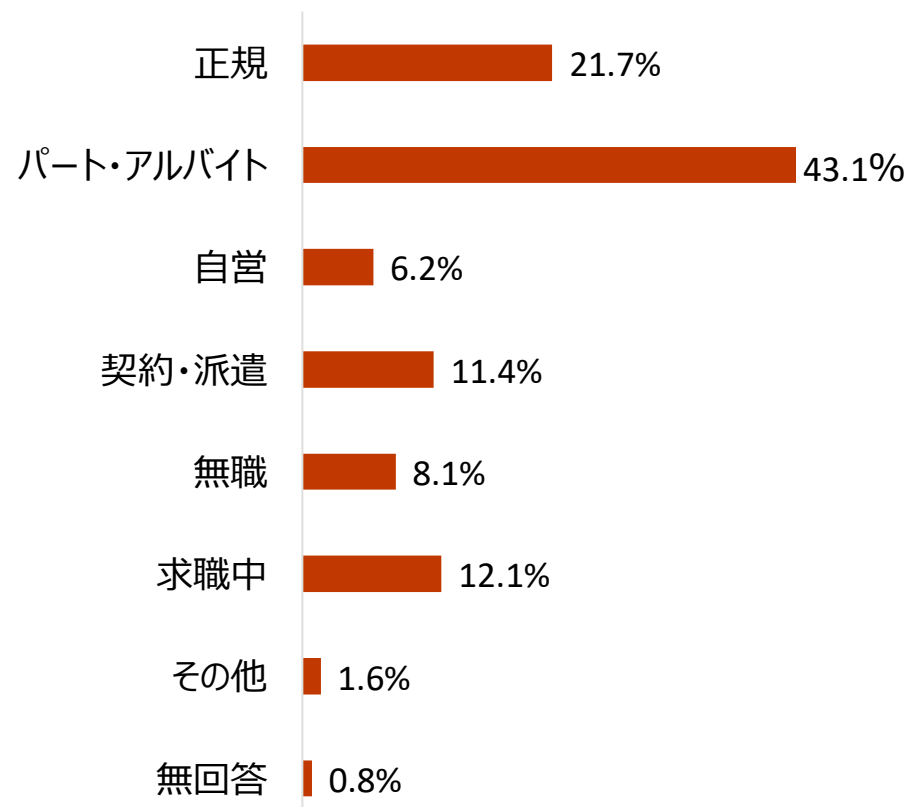
<利用した保護者の情報>

性別	割合
女	98.1 %
男	1.9 %

年代	割合
10代	0.1%
20代	6.4 %
30代	39.0%
40代	46.7 %
50代	7.8 %

子どもの人数	世帯数
1人	541
2人	399
3人	185
4人	38
5人	10
6人	5
7人	2
8人	1
合計	1,181

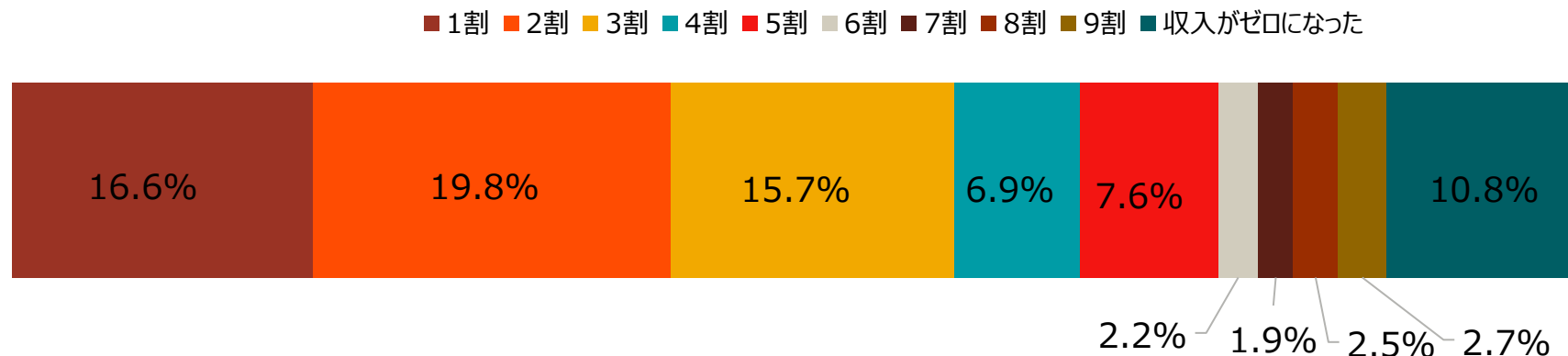
保護者の就業状況



※割合の分母はすべて、1,181 世帯。

1. 収入が減少した割合

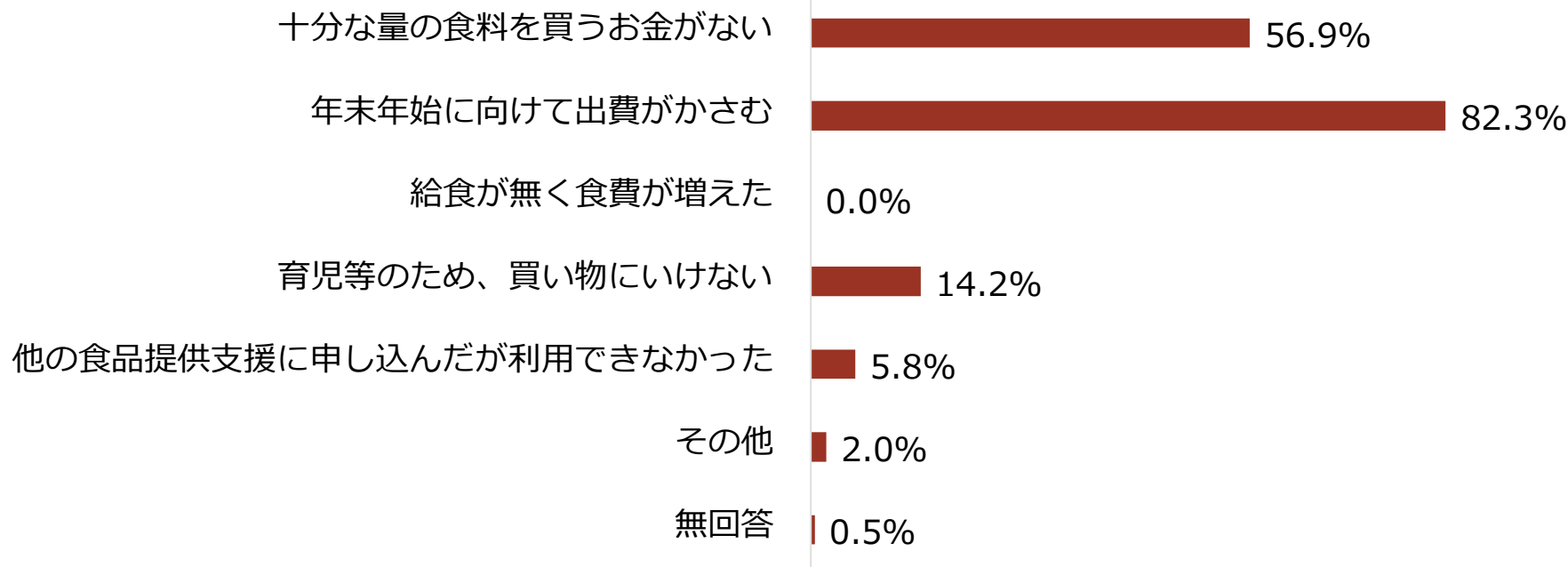
申請時の質問：新型コロナの影響で、あなたの家庭の収入はどの程度減少しましたか？（任意、単数回答）



2020年5月のアンケート結果と比較し、収入ゼロ世帯は約半数程度に減ったものの、コロナ以前の水準まで収入が回復した世帯は約1割に留まる。約3割の世帯では5割以上収入減の状態が続いている。

2.本ボックスの申込理由

申請時の質問：本ボックスの申し込み理由を教えてください。（任意、複数回答）

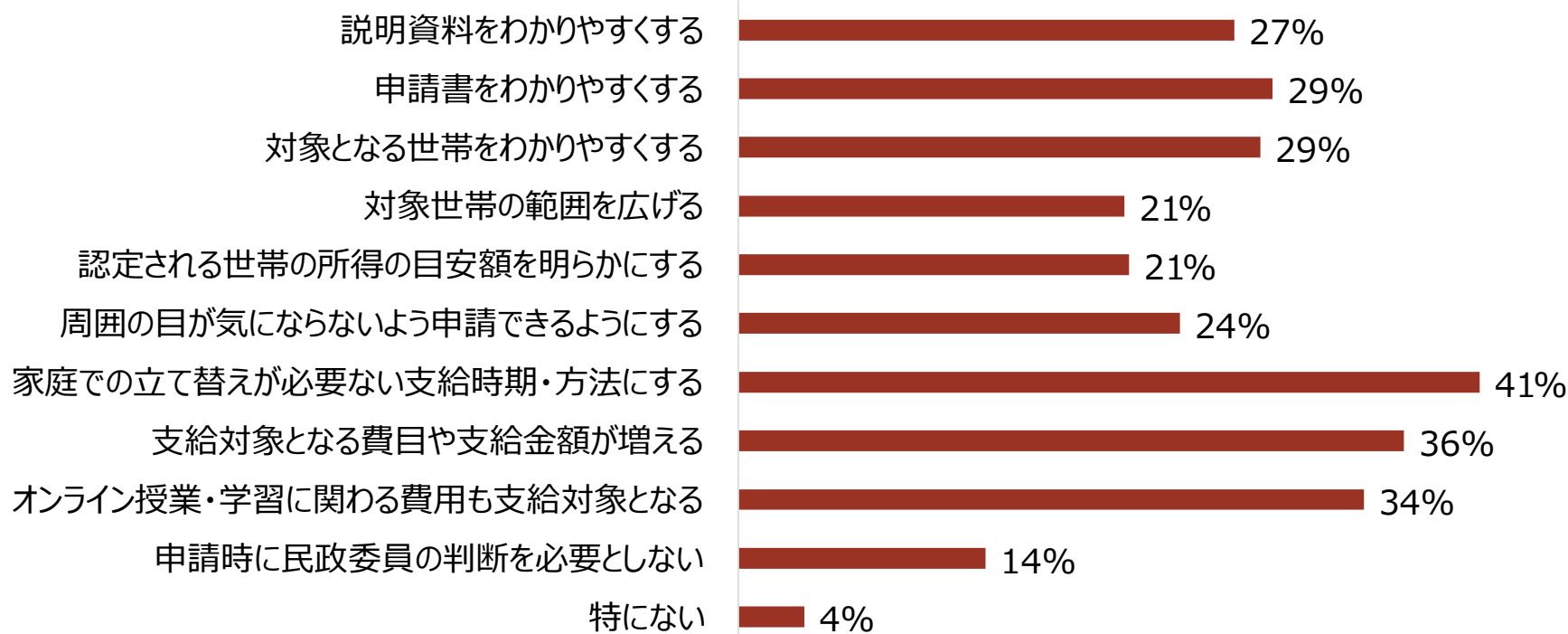


● その他の内容（一部）

- ・緊急事態宣言中の収入が減り、貯金を取り崩して生活しているため。（30代女性・小学1-3年生、未就学児2人）
- ・子どもたちの給食がない期間、お休みの間はどうしても食費がかさむ。（40代女性・高校生、中学生）
- ・前回いただいてとても助かったため今回も利用させていただきたいと思いました。（30代女性・小学1-3年生）
- ・全てにおいて余裕がない。（30代女性・中学生、小学4-6年生）
- ・小学校の入学準備にお金がかかるため。（40代女性、未就学児）
- ・来月失業予定（30代女性、未就学児）

3. 教育支援制度について

申請時の質問：教育支援制度について：利用状況にかかわらず、高校生等奨学給付金／就学援助制度について改善してほしい点はありますか。※複数回答可（就学年齢の子どもがいる方のみご回答ください。）



● その他の内容（一部）

- ・就学援助は毎年初めは自己負担なので、後で戻ってくるとはいえ大変です。（30代女性、中学生、小学4-6年生、小学1-3年生）
- ・保証人がいない。（40代女性、中学生2人）

申請時の質問：差し支えない範囲で、あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていること、政府や自治体、社会に求めること、伝えたいことを具体的に教えてください。（任意、自由記述）

・東京都の感染人数が増えてきて、仕事も11月からまた減る話をされました。夏から夜も掛け持ちしていますが、正社員ではないので収入面が1番の心配です。（40代女性・高校生2人、中学生1人）

・コロナがなくても、融通の効かないひとり親を雇う企業もなく家を貸す大家もいません。（30代女性・小学4-6年）

・コロナの影響でアルバイト先が倒産し、収入が減った中、年末年始、12月ほどの手当でも入らないので、節約節約で、また受験生なので来年の出費も嵩む事がものすごく不安です（30代女性・中学生）

・助成金等、非課税世帯対象が多いのですが、非課税でなくても子供の学費や生活面で本当に苦しいのでもう少し対象世帯の範囲を広げてほしいです。（30代女性・高校生、未就学児）

・私は沢山病を抱えながら一人で子供を育てています。私の様な病気がありながら子供を育てている方への、支援など、手をもう少し差し伸べていただけたら生きる勇気に、前向きになれると思います。（40代女性・小学1-3年生）

・育ち盛りの子供と自宅にての外出しない生活。お米は 5 キロ 1 週間ももたない…働けない私は収入もない…悪夢でした。またきちんと補償があれば安心できると思っております。（40 代女性・高校生 2 人、小学 4-6 年生）

・失業中で現在全く収入がないにも関わらず、前年の所得で計算されるものは全て給付が停止になってしまう。現在の困窮状態に合わせた支援が欲しい。学費や交通費、医療費の負担がかなり負担で困っている。（40 代女性・中学生）

・コロナの影響で、次女は学校に行かなくなり、先日退学してしまった。私は運送業なので、宅配が増え、仕事量も増えてしまったが、収入は変わらない。子どもが自宅にいたので、未だに光熱費等がかさんでしまっている。子どものケアも含めて少し仕事を休みたいが、そうもいかないため、私の気持ち的に不安定です。（30 代女性・高校生 2 人、未就学児）

・オンライン授業になった場合、ネット回線を引いていない家庭は負担が増える。（40 代女性・小学 4-6 年）

・オンライン化が進みパソコン等が必要だが、購入資金がない。（40 代女性・小学 1-3 年生）

・年末年始にかけて過ごすお金が無い。食料を貰えるのは凄く有難いし、必要だけど、食料だけじゃなく、オムツやおしりふき、暖かい着るものも買えない（30 代女性・未就学児）

・コロナでもと旦那がうつ病になり、いっさい養育費がでなくなり、ほんとに最悪です。（30 代女性・小学 1-2 年生）

・通信ゲームが流行っていて 持っていない子は遊べないのがかわいそうかなと思っています。(50代女性・中学生、小学4-6年生)

・片親の就業相談は、多く用意されているが、その他の生活全般にまつわる相談窓口が、県や市によってあたりなかつたりするので設けて欲しい！又、時々、こども食堂の食料配布を覗いているが、制限や条件を設けていない為、両親揃った家や子供のいない世帯等も集まっていて、先着順の為、仕事があつたりで、受付最後のほうになると、食料が無くなっていて、本当に困っている片親世帯にはまわってこない事が多々あるので、援助を受ける以上は、条件等設けて欲しい。(40代女性・未就学児)

・一人親で持病がある場合は辛い。頼れる人もいなくて生活費や教育費が不安。貸付や給付も状況によって受けられない。受けられても立替えしかないと言われた。生活が厳しいのに立替えられる訳ない。(40代女性・中学生)

・児童扶養手当が18歳までしか支給されないのですが、20歳まで延長して欲しいです。上の子は高校3年生で来年4月から手当がなくなります。収入の不安定なコロナ渦で、大学に進学しても学費など捻出できるか…。せめて児童扶養手当があれば教材などの購入に当てられると思います。(40代女性・高校生2人)

・現在緊急小口金、生活総合支援資金ともに借りている。延長も希望し申請している。合計借金として、金額は160万になるので、いくら非課税世帯が免除になる、と言われても不安感が強い。借りたが返せるか、いつの時点でどのような場合は免除になるのかをきちんと明示してほしい。(40代女性・高校生、小学1-3年生2人)

■以上